

平成 16 年度

監査事務局予算要求方針

- 目 次 -

- 1 平成 16 年度 監査事務局予算要求総括表 1
【一般会計】

- 2 16 年度予算要求にあたっての基本的考え方 2

1 平成 16 年度 監査事務局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度 予 算 額 A	平成 16 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
監査事務局	2 6 (2 6)	2 6 (2 6)	0 (0)	0 . 0 % (0 . 0 %)
合 計	2 6 (2 6)	2 6 (2 6)	0 (0)	0 . 0 % (0 . 0 %)

2 16年度予算要求にあたっての基本的考え方

本格的な地方分権の到来や市民自治の推進など，地方公共団体における経営環境のめまぐるしい変化の中，適正な予算執行と効率的な事業運営を公正・中立的立場からチェックする監査委員監査の役割は，益々重要となってきた。また，行財政に対する市民の関心の高まりや情報公開制度の浸透を背景に住民監査請求が増加しており，市長部局で進めている出資団体（3セク）の改革に伴い，出資団体監査の強化（監査対象団体の拡大，監査サイクルの短縮）に対する要望も大きくなっている。

こうした状況に対応するため，大課制やマトリックス的な監査体制を取り入れ，その検証を行いつつ効率的，効果的な執行体制の確立を図っている。更には，インターネットのホームページにおいて各種監査結果，決算審査意見書を掲載するなど，積極的な情報提供に努めてきた。

これらの取組を継続・発展させ，より一層，監査機能を充実させることとするが，本市における財政状況が依然として厳しい環境にあることを十分に認識したうえで，平成16年度においては以下の課題について重点的に取組むこととし，必要な予算を計上した。

1 監査機能の充実強化

財務事務監査における年間の監査対象部に対して、一般・特別会計班、企業会計班といった仕切りをはずして大課制によるマトリックス的な監査担当係長の業務分担を実施し、一体として財務監査を実施する事務環境を整える。

定期監査、行政監査及び他団体監査について、可能なものは同時に実施するよう調整し、監査を実施するサイドにおいて効率的な監査を実施するとともに、監査を受ける側の負担の軽減を図る。

平成15年度に開設したホームページ「札幌市の監査」の内容充実を図り、積極的な情報開示を推進する。

職場内研修を実施し、会計学等、監査業務に必要な基準・一般原則等の理解を深め、監査担当者の資質向上を図る等、監査技術の向上に努める。

包括外部監査結果に対する市長部局の措置状況を定期的に把握し、それを踏まえて定期監査等における着眼点を整備する。